

西暦	1974・1975	最上級生(期生)	監督	今村 徹之	顧問	今村 徹之 / 平川 誠
和暦	S49・S50	1 期生				

メンバー
(★=キャプテン)

内田 敏章
大石 三津子
鬼崎 悦子
北野 宏一
久保山 大栄
永吉 信敏
★原 哲之
廣川 孝幸
枡田 充生
松尾 秀樹
松野 綱紀
三好 弘宗
安永 光徳
八並 美佐子

【今を担う後輩らへメッセージ／現役当時を振り返って】

創部メンバーの思い

先日のマオリAB'戦初勝利に貢献しイタリア戦で初キャップを得ハードワークしたロック、女子フィジー戦で躍動した両センター、昨年まで女子チームの中核となった主将等々、日本代表で活躍する後輩達を想像すらできなかった50年前。筑紫ラグビーの創部は、体育の授業で興味を持った1期生数人による放課後のボール遊びから始まった。「ラグビー部を創るなら面倒見てもいいぞ」と故今村徹之恩師の声掛けがあり、2期生が入学し人数が揃った昭和49年5月に創部した。

練習は平日2時間弱、ウサギ跳び・肩車・手押車の記憶しかないが、前年まで県2校から1校に絞られた代表枠を勝ち取り、創部1年半で花園に出場できた。今と違い群雄割拠の時代下で基礎体力作りが功を奏したと思う。

以後半世紀にわたり強豪校がひしめく中で「筑紫ラグビー」の名声を得続けている事に大きな誇りを持つとともに、関係各位の御尽力に感謝したい。高齢者となった我々創部メンバーは、日本代表戦に筑紫のヘッドキャップを被って活躍する姿や「筑紫でラグビーやって良かった」との声に大きな喜びを感じながら、今後とも後輩達を応援していきたい。

1期生主将 原 哲之



14 名

1~10 期
(昭和50年~昭和59年)

【スタッフ】

戦績データについては、右のQRコードより筑紫高校ラグビー部公式HP>筑紫高校ラグビー部の軌跡ページにてご覧いただけます。ただし、判明している範囲での掲載となりますことをご了承ください。



西暦	1976	最上級生(期生)	監督	顧問
和暦	S51	2期生	今村 徹之	今村 徹之 / 平川 誠

メンバー
(★=キャプテン)

荒兼 敏夫
井上 裕之
小河 重信
河野 淳二
草場 勇次
佐土嶋 潔

★齊藤 信泰

坂本 秀徳
櫻木 謙吉
櫻木 陽二
猿渡 信二
陶山 孝徳
中川 哲治
西村 美香
野田 弘子
樋口 義彦
宮地 和哉
山下 健治

【今を担う後輩らへメッセージ／現役当時を振り返って】

輝かしき50年と仲間たち

筑紫高校ラグビー部50周年誠におめでとうございます。日々の地道な活動で常にトップレベルを維持し、卒業後も名プレイヤーを輩出しているチームを誇りに思うとともに、花園に向けての努力が実を結ぶことを願いこれからも応援します。

古豪チーム全盛で一朝一夕の強化は難しいと思われていた高校ラグビー界、筑紫高校ラグビー部は発足2年目で大きく飛躍を遂げた。福岡地区新人戦で雲の上のチーム福岡高校に完勝し、決勝で筑紫丘高校に敗れたものの準優勝。続く春の福岡県予選をあれよという間に勝ち抜き九州大会出場。原キャプテンをはじめ一期先輩方の牽引もあり、自信を付けたチームは勢いのまま全国大会福岡県予選を突破し、憧れの大舞台の中 初戦で函館北高校に後半逆転負けを喫したものの、伝統なきチームが「創部1年半で花園出場」と地元新聞に大きく取り上げられた。

振り返れば、初代今村徹之監督指導のもと、合理的な練習で試合経験を重ねるごとにチームは成長。冬場は1時間ほどの練習であったが、ミスが出ると「アゲン」の笛で振り出しに戻るコンビ練習は永遠に続くことも。また、うさぎ跳びなど徹底した「人間系筋力トレーニング」により、基礎体力が向上し、スクラム練習は皆無にもかかわらず、軽量ながら相手に押し勝つFWは頼もしい限りだった。「痛いふりするな(相手に弱みを見せるな)」、「トライしても平然と振る舞え(相手に敬意を示せ)」など熱いながらも淡々と語られる監督の言葉は印象に残る。「ひょこひょこ走るな、ひゅうひゅう走れ」の名言は今でも頭にこびり付いている。

最終学年、新人戦初戦糸島高校に2点差で不覚を取り、全国大会予選で同校に雪辱したものの、最後は風雨の悪コンディションの中、池浦主将要す福岡工業高校に僅差で敗れ、シーズンはあまりにも早く幕を閉じた。しかしながら、2年後に後輩たちが再び花園出場を果たしたことは嬉しい限りであった。

時は過ぎ、集まれば当時のプレーを肴にタラレバの話で大いに盛り上がる。歓喜もあったが、悔しい経験も人生の糧として心に刻んだ同期の絆は一生もの。あらためてラグビーとの出会いに感謝！

2期生主将 齊藤 信泰



18名

1~10期
(昭和50年~昭和59年)

【スタッフ】

戦績データについては、右のQRコードより筑紫高校ラグビー部公式HP>筑紫高校ラグビー部の軌跡ページにてご覧いただけます。ただし、判明している範囲での掲載となりますことをご了承ください。



西暦	1977	最上級生(期生)	監督	顧問
和暦	S52	3期生	今村 徹之	今村 徹之 / 平川 誠

メンバー
(★=キャプテン)

青木 広治
大塚 理
川添 忠吉
河戸 広志
★毛屋 孝紀
須藤 豊
樗木 延夫
中森 秀樹
西 正規
花田 匡光
廣田 輝久

【今を担う後輩らへメッセージ／現役当時を振り返って】

誇り高く戦い続けた筑紫ラグビーの50年

皆様、ご存じの通り筑紫高校ラグビー部は私の1年生の時に花園出場という事を1期・2期生で成し遂げた信じられないミラクルなチームです。

花園出場が決まって練習していると民放のヘリコプターがグラウンドに降り立って取材を受けたりNHKの取材があったり、それは世間に注目されていました。それはもちろん当時の今村先生の指導によるものであり上級生の方々の運動能力の高さによるものだと思います。こういった環境の中で1年生を過ごした3期生も、もちろん花園に行くつもりでしたし、それを身近に感じていました。

昭和52年11月全国大会予選準決勝、相手は修猷でした。エースの大塚が怪我で欠場していたとは言え、LO中森が先制トライを決め、SO青木がトライ後のコンバージョンを決めました。夏の練習試合も難なく勝っており、これは大丈夫、勝てると思ったのですが、その後スクラムトライをされたり、良い所がほとんどなく20点差位で敗退してしまいました。

修猷は優勝して花園出場を決めました。修猷はこの年以来、花園には行っていません。なぜ自分が流れをこちらに戻すプレーができなかったのかと、もうすぐ50年になるのに未だに後悔しております。でも筑紫でラグビーをできた事を誇りに思っています。

現役の皆様、昨今は私達の頃と違って東福岡という絶対的存在があって花園出場は至難の業とは十分理解しております。でも筑紫ラグビーの誇りをもって頑張ってください。

3期生主将 毛屋 孝紀



11名

1~10期
(昭和50年~昭和59年)

【スタッフ】

戦績データについては、右のQRコードより筑紫高校ラグビー部公式HP>筑紫高校ラグビー部の軌跡ページにてご覧いただけます。ただし、判明している範囲での掲載となりますことをご了承ください。



西暦	1978	最上級生(期生)	監督	顧問
和暦	S53	4期生	今村 徹之	今村 徹之 / 平川 誠

メンバー
(★=キャプテン)

圓藤 誠一
小河 信生
河本 正憲
木原 寿
行徳 誠治
黒瀬 克英
佐藤 秀隆
末吉 昭博
友田 浩
★中村 義幸
濱 裕輔
濱本 泰裕
日永田 彰彦
堀内 浩史
湊川 博昭
門司 悦子
山根 新

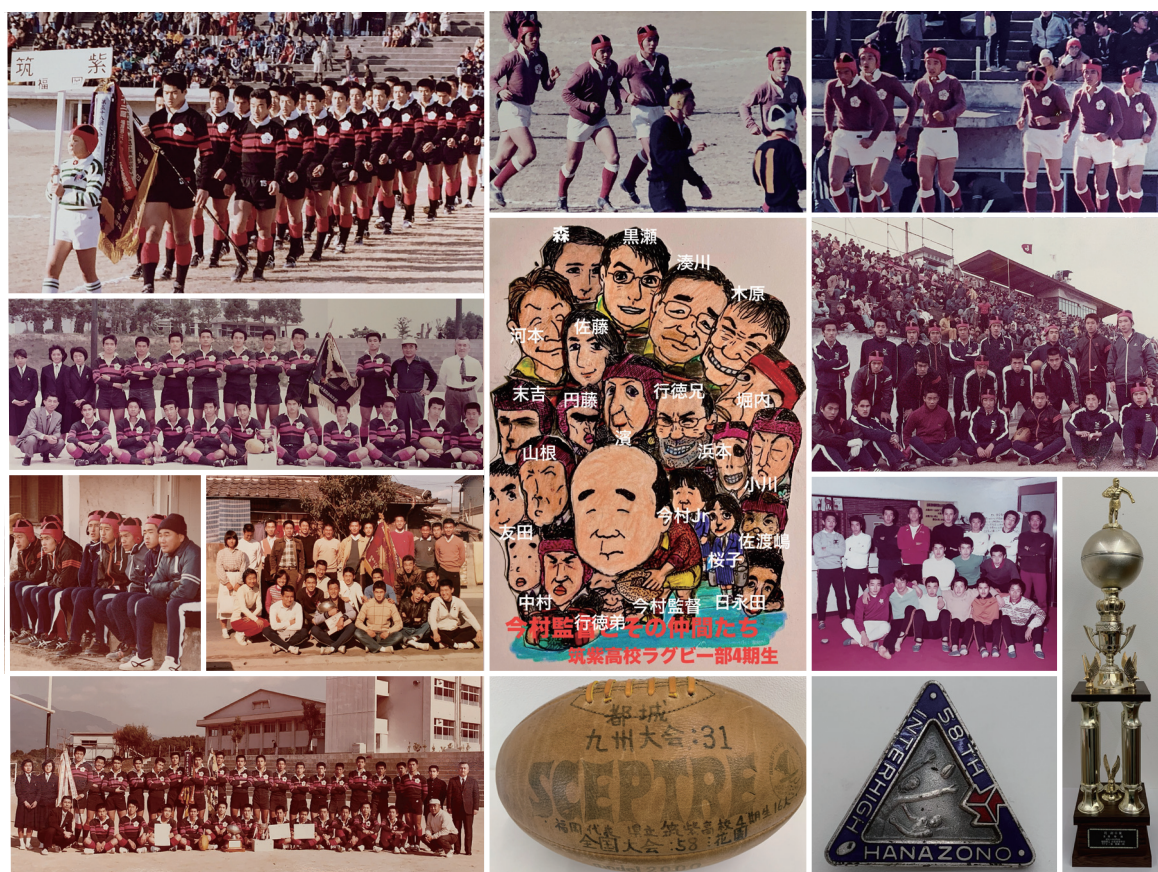
【今を担う後輩らへメッセージ／現役当時を振り返って】

2度目の1期生より

創部2年目で花園出場。当時1・2年生の先輩達が、2・3年生になって目の前にいた。ごっつくて！怖くて！でも優しくて！カッコ良くて！青い空。白いうろこ雲。草の匂い。長いホイッスル。「トライ！」のコール。ダイビングトライして、空を見上げていた時の景色。夏合宿。少し涼しくなった久留米高専グラウンド。佐賀工業との1年生試合。ウイングの木原がタックルされながら、出してくれたパスを受けて走り切った。初めてのトライ。とにかく元気な4期生だった。機転が利いていて、ジョークが好きで！経験者は一人もいなかったけど、みんないろいろな特技と強さをもっていた。

現役諸君へ！キャプテンは「弱たれ！」でいい。その分、チームが強くなるから！

4期生主将 中村 義幸



17名

1~10 期
(昭和50年~昭和59年)

【スタッフ】

戦績データについては、右のQRコードより筑紫高校ラグビー部公式HP>筑紫高校ラグビー部の軌跡ページにてご覧いただけます。ただし、判明している範囲での掲載となりますことをご了承ください。



西暦	1979	最上級生(期生)	監督	顧問
和暦	S54	5期生	今村 徹之	今村 徹之 / 平川 誠

メンバー
(★=キャプテン)

天田 信二
蒲池 昌敏
行徳 和典
久保 政詞
★熊手 健治
濱本 桜子
舟戸 圭一
山村 雅啓

【今を担う後輩らへメッセージ／現役当時を振り返って】

ラグビーで培った人生の起点

『「7人の侍」頑張らんか』と初代筑紫高校ラグビー部監督故今村徹之先生からよく声をかけていただいていた。私たち5期生は、入学当初は30名以上いた部員も3年時の花園予選の時は7名になっていました。

4期生が花園に出場し、私たち5期生は、多大なるプレッシャーの中スタートを切りました。部員が少ない上、けが人等も多数出て、新人戦・九州大会予選では満足のいく結果が残せませんでした。昨年まではランパス5セットが最高だったのが、15セットを経験し、下級生の力を借りて、10月には練習試合で、筑紫丘以外には負けないほどになりました。予選の組み合わせで、筑紫丘が別の山であったので、決勝まで行けると思ったのを今でも覚えています。ただ本番では、練習試合で一度も負けたことがなかった、福岡高校に負けて涙を流したのを鮮明に覚えています。

今村先生は、自分の3年時の担任でもあり、私たちの卒業と同時に、福岡工業に転任されましたので、筑紫高校の最後の花園予選で結果を残せなかったことを申し訳なく思っています。結果は満足のいくものではありませんでしたが、筑紫高校ラグビー部での3年間は、自分の人生の起点になっています。

5期生主将 熊手 健治



8名

1~10期
(昭和50年~昭和59年)

【スタッフ】

戦績データについては、右のQRコードより筑紫高校ラグビー部公式HP>筑紫高校ラグビー部の軌跡ページにてご覧いただけます。ただし、判明している範囲での掲載となりますことをご了承ください。



西暦	1980	最上級生(期生)	監督	城戸 英敏	顧問	城戸 英敏 / 重松 明成
和暦	S55	6期生				

メンバー
(★=キャプテン)

秋山 葉子
新 博司
木付 憲孝
酒井 琢也
清水 聡
★田中 良彦
寺本 祥
林 剛
福地 鋭朗
村里 直昭

【今を担う後輩らへメッセージ／現役当時を振り返って】

「2人の恩師の教えを繋ぎ紡いだ6・7期生」感謝

福岡県立筑紫高等学校 創立50周年という記念すべき節目に、ラグビー部6期生としてこの思い出を寄稿できることを心から光栄に思います。

2年生の途中まで私たちは初代監督である故今村先生の指導を受け、その後の九州大会以降は二代目監督の城戸先生に導かれました。指導者が途中で変わるという経験は珍しく、その過程で感じた戸惑いや不安、そして新しい挑戦への期待が今でも鮮明に思い出されます。

平均体重63kgのFWが、本気で花園出場を目指して毎日流した汗と涙、赤点ぎりぎりの頭で考えたBKサインプレーや自己練メニュー、その努力は花園への切符を手にすることはできませんでしたが、ラグビーを通じて得た多くの教訓や仲間との絆は、今でも私の誇りであり、人生の大きな財産となっています。

現役の諸君へ「何としても花園へ！行けばそこには素晴らしい景色がある！」これは、私が卒業してから何度も耳にした言葉です。確かに花園は素晴らしい場所です。しかし、花園に行けなかったからこそ見える景色も存在します。その目標に向かって本気で過ごした時間、その一瞬一瞬は何よりも尊く、美しいものです。君たちにとって、その努力は一生の財産となり、一緒に汗を流した仲間は、何よりの宝物になるでしょう。

先日、私たちは還暦を迎え、同期8名で還暦旅行を楽しみました。もちろん、女子マネも参加です。旅のゴールは母校の筑紫グラウンドでした。記念碑に向かって深々と頭を下げ、再びボールを回しながら、あの頃の情熱と友情を思い出しました。

6期生主将 田中 良彦



【スタッフ】

10名

1~10期
(昭和50年~昭和59年)

戦績データについては、右のQRコードより筑紫高校ラグビー部公式HP>筑紫高校ラグビー部の軌跡ページにてご覧いただけます。ただし、判明している範囲での掲載となりますことをご了承ください。



西暦	1981	最上級生(期生)	監督	城戸 英敏	顧問	城戸 英敏 / 三堀 治夫
和暦	S56	7期生				

メンバー
(★=キャプテン)

江上 佳文
木村 賢治
田実 晋
高村 晴久
谷口 泰浩
南嶋 哲郎
萩尾 哲朗
橋本 正子

★藤山 英心
(卓也)

【今を担う後輩らへメッセージ／現役当時を振り返って】

つなぐ

4期生が平和台競技場で八女工業に勝って花園出場を決めた。と同時に、中学3年生だった私は筑紫高校でラグビーをすることを決めた。黒赤のジャージに憧れて入部した。

1年生では黒赤、2・3年生では白黒。両方のジャージに袖を通した学年は6期(田中良彦主将)と7期の2代のみである。入部当初28人いた同期は、3年の夏には9人になっていた。部を去っていく仲間を一人一人見送ることは苦しかった。「1期・4期が花園出場。その伝統を絶やしてはならない。花園に行きたくて筑紫に来たんだ。」その一心だった。

3年の秋。1981年11月8日。花園予選。準々決勝。vs福岡高校。10対10。抽選。福岡高校主将が封筒の中を確認して拳を突き上げた。その瞬間、花園への夢は絶たれた。2年後、1年生だった9期生(瀬尾博栄主将)が、決勝で福岡高校を倒して3度目の花園出場を手にした。うれしかった。

黒赤から白黒へ。筑紫の魂を絶やすことなく、つなぐことはできたのかもしれない。あの日々があるから今の自分がいる。3年間共に過ごした、高村、谷口、田実、松岡、木村、南嶋、江上、橋本マネージャー、ありがとう。

現役諸君！ 心をつないで、チーム一丸、信じて前へ。花園をその手に掴み取れ！

7期生主将 藤山 英心



9名

1~10期
(昭和50年~昭和59年)

【スタッフ】

戦績データについては、右のQRコードより筑紫高校ラグビー部公式HP>筑紫高校ラグビー部の軌跡ページにてご覧いただけます。ただし、判明している範囲での掲載となりますことをご了承ください。



貝原 宣輝
高橋 渉
中島 きよみ
橋野 悟
浜本 浩孝
光井 猛之
安永 拓志
山上 太一
★吉開 敏
渡辺 達矢

【今を担う後輩らへメッセージ／現役当時を振り返って】

記念誌に寄せて

その昔、今から40数年も前、僕ら8期生はラグビー部に入部しました。

当時は今ほどラグビーはメジャーではなくラグビーについて知っていることといえば、スクラムを組んでタックルしてトライをする、て事位でした。

そんな素人集団であった僕らが城戸先生の元、初めてラグビーと出会い、勝つ事、負ける事、先輩、後輩、同期との絆、他色々な事を高校生活の三年間で心に刻み込む事が出来たのは、本当に幸運な事でした。

今でも、夏合宿や、夜間車のヘッドライトでの練習、鉄アレイ等当時のエピソードで何時間も語らう事が出来るのは、あの時勇気出してラグビー部に入ったご褒美だと、そう感じています。

今の現役部員の皆さんとは、時代や環境、考え方も全く違うとは思いますがラグビーに対する気持ち、周りの方々への感謝を胸に全力を尽くしてください。

それは何時までも君たちの心に輝き続けるはずです。

8期生 高橋 渉



10名

1~10期
(昭和50年~昭和59年)

【スタッフ】

戦績データについては、右のQRコードより筑紫高校ラグビー部公式HP>筑紫高校ラグビー部の軌跡ページにてご覧いただけます。ただし、判明している範囲での掲載となりますことをご了承ください。



西暦	1983	最上級生(期生)	監督	城戸 英敏	顧問	城戸 英敏 / 三堀 治夫
和暦	S58	9 期生				

メンバー
(★=キャプテン)

碓井 裕二
緒方 浩典
大富 祐典
上久保 禎
★瀬尾 博栄
只隈 伸雄
土持 禎寛
永田 隆憲
西村 寛久
波多 浩二
原口 大輔
平井 正明
前田 渡
本村 弘司
森 竜志
吉武 勝巳

【今を担う後輩らへメッセージ／現役当時を振り返って】

「鉄から鋼へ」変わる夏合宿

現在夏合宿は長野県の菅平高原へ行き、国学院栃木や大阪桐蔭等の強豪校と試合を行っている。今年も夏合宿が迫っている。夏季休暇を利用して応援に行くつもりである。合宿初戦の国学院栃木戦でどんなゲームができるのか、秋を占う上でとても重要な一戦である。観戦をとても楽しみにしている。

我々の頃にも夏合宿を行った。今でも同期と飲むと必ずと言っていいほど話題になる。1年生の夏合宿は久留米大学へ通った。「きつかった」記憶はあるが、行きたくないとは思わなかった。

合宿での対戦相手等は覚えていないが先輩たちの背中を仲間と必死で追いかけた。2年生の夏合宿は山口県長門市仙崎へ行った。翌年花園で旋風を巻き起こした大津高校や山口水産等と試合をした。この時も「きつかった」記憶はあるが、上手く・強くなりたくて帰りたいとは思わなかった。しかし合宿中盤怪我人が多く出てそれまで経験した事がないウイングを急遽やる事になった。全く良いプレーができず、チームに迷惑をかけ城戸先生にも3年間分怒られた。それまで調子に乗って伸びていた鼻がへし折られた感じだった。仲間はそんな自分を励ましてくれた。「ALL FOR ONE」に触れ、必死に走ってタックルした。仲間の大切さを改めて感じた。3年生の夏合宿は大阪府の湯平温泉に行った。

西日本各地から10数校が集まった。宿舎から30分程歩いてグラウンドに着くと直ちに走りまくった。この合宿も物凄く「きつかった」が、花園出場を目指しモチベーションは高かった。合宿での試合で本校の中心選手が退場になった。エースを失いゲームでの規律保持の大切さを学んだ。合宿の中日に登ってきたばかりの神戸高校と試合した。半ちゃんで3本取られて完敗した。屈辱を味わった。このゲームでの敗戦により、チームのモチベーションはさらに上がったことを覚えている。

夏合宿は自分自身やチームが「鉄から鋼」へ変わる貴重な機会だった。現役諸君には夏合宿でしっかり鍛え込み、「鋼のラガー」になって欲しいと思っている。

9期生主将 瀬尾 博栄



16 名

1~10 期
(昭和50年~昭和59年)



【スタッフ】

戦績データについては、右のQRコードより筑紫高校ラグビー部公式HP>筑紫高校ラグビー部の軌跡ページにてご覧いただけます。ただし、判明している範囲での掲載となりますことをご了承ください。

西暦	1984	最上級生(期生)	監督	城戸 英敏	顧問	城戸 英敏 / 三堀 治夫
和暦	S59	10期生				

メンバー
(★=キャプテン)

井上 光司
浦塚 由美
大津 麻里
岡藤 輝光
久保山 辰也
迫畑 真一
篠原 太郎
★田籠 一男
千屋 靖彦
中島 英男
浜田 祖
原田 耕治
藤野 新吾
堀川 貴広
前田 俊和
山崎 恵介

【今を担う後輩らへメッセージ／現役当時を振り返って】

返上の年と10期生の思い出

この度は筑紫高校ラグビー部創部50周年おめでとうございます。

10期 昭和59(1984)年度卒業

昭和57(1982)年入学。入部当時は24-25名居た筈ですが、卒業まで残ったのは16名でした。

ラグビー経験者は藤野新吾(SO/FB)のみ。当時は中学ラグビースクールも現在ほど盛んではなく1学年に1〜2名居るくらいがどの学校も普通でした。

10期の思い出・・・やはり「返上の年」ということでしょうか。前年にそれまで連覇を続けていた古豪福岡高校に対して、7期の県2回戦引き分け(抽選負け)、8期の決勝戦零敗の借りを返すべく9期の先輩方は必死に闘い、新人戦県大会優勝、九州大会県大会優勝(引き分け、抽選により本大会へは進めず)、そして念願の全国大会福岡県大会優勝と全て福岡高校に勝ち得た栄光を、新人戦準優勝(筑紫丘に敗退)、九州大会中部地区パート決勝引き分け(修猷館に抽選負け)、全国大会福岡県大会準優勝(東福岡の初出場をアシスト)と全て手放した1年でした。ある意味、福岡県高校ラグビーの歴史を変えた10期です(笑)

現在はほぼ経験者で構成される筑紫高校ラグビー部。持てる才能を発揮して宿敵東福岡高校を倒して花園出場に向け頑張ってください。夢の全国制覇を期待しております。

10期生副将 井上 光司(現OB/OG会事務局)



16名

1〜10期
(昭和50年〜昭和59年)

【スタッフ】

戦績データについては、右のQRコードより筑紫高校ラグビー部公式HP>筑紫高校ラグビー部の軌跡ページにてご覧いただけます。ただし、判明している範囲での掲載となりますことをご了承ください。

